

事務事業評価表（平成26年度）

事業コード	848	課コード	0703	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 良質な住宅供給の推進	個別事業 市営住宅維持管理点検業務	実施計画への位置づけ	●有 ○無	②部課名	都市部・建築住宅課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	3人 (換算人数)	0.25人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	20,353千円 (うち人件費 2,325千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)
	⑧施策の位置づけ	施策コード	64001	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	市営住宅の良質化や安全性の向上を図るため、老朽施設の改修、バリアフリー化の推進などを計画的に行います。また、UR（独立行政法人 都市再生機構）、公営住宅、民間住宅の活用を視野に入れた、より広い枠組みの中で効率的な供給を進めていきます。			事業目的	入居者が快適で安心して暮らせる住環境の整備。				
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> 合併浄化槽、貯水槽の法定点検 草刈、樹木管理（剪定、消毒等）の委託 土地賃貸借契約（変更）の締結と賃借料の支払い その他市営住宅維持管理に関する事 小規模改良住宅維持管理に関する事 			当該年度執行計画	<ul style="list-style-type: none"> 浄化槽、水道法定点検：随時 樹木の剪定と消毒、草刈：随時 土地賃貸借契約（変更）の締結：4月 賃借料の支払い：4、12月 				
		当該年度活動結果指標	給水設備等の点検、樹木剪定等、土地賃貸借契約の締結件数	単位	件	想定値	30	実績値		
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	入居者が快適で、安心して暮らせる住環境の整備に努める。			直接	給水設備等点検、樹木剪定等、土地賃貸借契約の締結件数		件	30	30	
3年後	同上			直接	同上		件	30	30	
最終(概ね5年後)	同上			直接	同上		件	30	30	
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		消耗品費	243	消耗品費	326	消耗品費	326	消耗品費	326	
		光熱水費	20	光熱水費	21	光熱水費	21	光熱水費	21	
		手数料(浄化槽法定点検他)	0	手数料(浄化槽法定点検他)	0	手数料(浄化槽法定点検他)	0	手数料(浄化槽法定点検他)	0	
その他保険料(施設賠償、公園保険)	165	その他保険料(施設賠償、公園保険、改設備等保守点検委託料(貯水槽他))	183	その他保険料(施設賠償、公園保険、改設備等保守点検委託料(貯水槽他))	183	その他保険料(施設賠償、公園保険、改設備等保守点検委託料(貯水槽他))	183			
草刈委託料	120	草刈委託料	319	草刈委託料	319	草刈委託料	319			
樹木管理委託料	660	樹木管理委託料	1,710	樹木管理委託料	710	樹木管理委託料	710			
ハウスクリーニング委託料	342	ハウスクリーニング委託料	351	ハウスクリーニング委託料	351	ハウスクリーニング委託料	351			
土地賃借料	12,578	土地賃借料	12,609	土地賃借料	12,609	土地賃借料	12,609			
電波障害防除共架料	50	電波障害防除共架料	50	電波障害防除共架料	50	電波障害防除共架料	50			
原材料費(公園砂代)	28	原材料費(公園砂代)	29	原材料費(公園砂代)	29	原材料費(公園砂代)	29			
		特殊建築物定期調査(3年ごと)	2,430							
予算(済)額	合計		14,206	合計		18,028	合計		14,598	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	
	一般財源	14,206		0		0		0		
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0	□特会 ■受益 □債務 □基金 □その他		18,028	□特会 ■受益 □債務 □基金 □その他		14,598	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.23		0.25		0.25		0.25		
	正職員人件費	2,139		2,325		2,325		2,325		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	16,345		20,353		16,923		16,923			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	544.83千円/件		678.43千円/件							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討			
	入居者が安全で快適に暮らすため、市営住宅施設の法定点検及び定期点検、樹木剪定等の維持管理は必要な事業である。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要			
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 <その他の内容>			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要			
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 <その他の内容>										
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容				実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)			
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容>							参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>			
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			取組む内容				実施した具体的な内容			
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容>							環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>			
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (件)	目標値(b) (件)	目標値の妥当性のチェック				達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成			
	30	30	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である				実績値(f) (件)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減			実施予定の対策				実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>				実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c) × 100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
事業費削減率(%)			△24.52				<超過理由等>				
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	目標値対事業費(e)			計算方法				達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	
	0.15	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費				実績値(h)	対目標値(%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	0.15			10万円							

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------